

みなとカフェ 二周年記念講演会&カフェ

講演題 「がんと白髪」

講師



笹子 三津留

医師、淀川キリスト教病院理事長
メディカルカフェ「こころのともしび」主宰者

〇〇〇 講師からひと言 〇〇〇

私は妻真由子と、大きな病院をやめたら、患者さん達が気楽に来られるカウンターバーみたいなものを開けられたらいいね、と常々話しておりました。忙しい臨床現場で時間に追われながら接するのではなく、人と人として、ゆったりと患者さん達が本音を出し、語り合える場があればいいと思っていました。また、過去に数千例の患者さんを手術し、フォローアップし、たくさんのことを教えていただいた経験が、私に、「教わったことを次の患者さんにバトンを渡していくことが必要だ」という思いを抱かせました。それと何人かの患者さんが信仰を持たれ、心のあり様が大きく変わるという姿を見せていただき、この活動の大切さを痛感しています。私たちのメディカルカフェ「こころのともしび」は10周年を迎えます。本講演では、私の医者として、前立腺がんの患者として、そしてカフェの主宰者として、教えていただいたことを分かち合えたら幸いです。

日時

2026年6月6日(土) 午後1時30分～午後4時

会場

日本キリスト改革派 神港教会

参加料

無料

お申込み

QRコードを読み込み、応募フォームよりお申込みください。

■事前申込みなしでもご参加いただけます

2026

6/6



講演後、みなとカフェを開催します。
ご希望の方はどうぞカフェにもご参加ください。

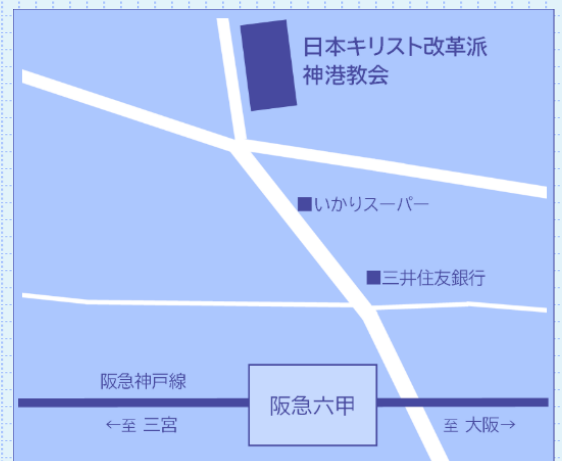
日本キリスト改革派 神港教会

〒657-0064 神戸市灘区山田町 3-1-12

TEL.078-851-6865

<https://shinkou-kyoukai.org/>

阪急六甲駅から北へ徒歩 3 分



講師略歴

1950年兵庫県西宮市生まれ。神戸高校卒。1976年に東大医学部を卒業。東大第2外科、都立墨東病院などで研修。1984年から1年パリ大学へ留学。1987年より国立がんセンター中央病院外科に20年在籍。その後は郷里の兵庫医科大学教授として活躍。胃がん手術の権威とされ、日本式胃がん手術を世界の標準手術とすることに尽力した。2015年に御影神愛キリスト教会にて受洗。2018年より淀川キリスト教病院に勤務し、現在は理事長。父親をがんで亡くした時の辛い経験から、がん告知にも先駆的に取り組んできた。常に患者目線をもって臨床に従事する外科医。2014年にはNHKの「プロフェSSIONAL～仕事の流儀～」にも出演。2016年から御影神愛キリスト教会で「御影ともしび外来・メディカルカフェ ころのともしび」を開いている。

「みなとカフェ」って？

国民の2人に1人はがんを経験し、3人に1人はがんで亡くなる時代です。また、がんに限らず、思いがけず様々な重い病気を抱えることもあるでしょう。また、ご家族が病気になって自分のことのように苦しむこともあるでしょう。そして、愛する方とお別れすることも。

「みなとカフェ」は、日々かかえる不安や葛藤、悲しみ、苦しみを、共に語り、聴き、分かち合う場として、2024年5月に神港教会を会場として開設しました。病院では話せないこと、家族には話にくいこと、しかし一人で抱えているとしんどいこと、その重荷を、お茶を飲み、美味しいお菓子を食べながら、ひと時下ろしてみませんか。荒波を行く船が港に立ち寄るように。

みなとカフェのスタッフは、上智大学グリーンケア研究所認定臨床傾聴士、がん体験者・家族、家族を失った経験を持つ者等で、緩和ケア医関本雅子医師や看護師が同席することもあります。教会は少し敷居が高いと感じられるかもしれませんが、キリスト教を押し付けることはありません。宗教の有無、種類を問わず、どなたでもご参加いただけます。

- 毎月 原則 第一土曜日 午後1時30分～3時30分
※変更になる場合がありますので、教会ホームページでご確認ください。
- 会場：日本キリスト改革派 神港教会
- 参加無料
- 手作りお菓子のおもてなしがあります。